

II 質問紙調査結果の概要

1 生徒質問紙調査

(1) 生活等に関する調査について

①自己実現・自己効力感について

- ・ I (12)「将来の夢や目標を持っています。」に対して、肯定的回答（「よく当てはまる」又は「やや当てはまる」）をした生徒の割合の推移

	中学校 2 学年の時	高等学校 1 学年の時	高等学校 2 学年の時
令和 7 年度高等学校 1 学年	71.0 *	73.1	
令和 7 年度高等学校 2 学年	73.0 **	71.3	73.1

- ・ I (9)「努力すれば、将来の夢や目標はかなうと思います。」に対して、肯定的回答（「よく当てはまる」又は「やや当てはまる」）をした生徒の割合の推移

	中学校 2 学年の時	高等学校 1 学年の時	高等学校 2 学年の時
令和 7 年度高等学校 1 学年	65.5 *	90.0	
令和 7 年度高等学校 2 学年	65.5 **	91.3	90.2

(注) * : 集計対象者数は 19,649 名 (令和 5 年度広島県学力調査報告書より)

** : 集計対象者数は 19,972 名 (令和 4 年度広島県学力調査報告書より)

(中学校 2 学年から高等学校 2 学年までの推移について)

I (9)「努力すれば、将来の夢や目標はかなうと思います。」に対して、肯定的回答をした生徒の割合は、中学校から高等学校に向けて増加傾向にある。

②生活時間について

- ・ I (25)「平日 (月曜日～金曜日)、1 日当たりどのくらいの時間、テレビを見たり、テレビゲーム (コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む。) をしたりしていますか。」に対する生徒の回答の割合の推移

学年	年度	していない	1 時間未満	1 時間以上 3 時間未満	3 時間以上
1	R3	6.1	24.9	45.9	23.2
	R4	7.2	24.7	44.0	24.0
	R5	8.2	24.4	41.9	25.5
	R6	5.0	16.5	41.1	37.4
	R7	5.0	17.7	41.8	35.5

学年	年度	していない	1 時間未満	1 時間以上 3 時間未満	3 時間以上
2	R3	7.3	28.3	44.1	20.3
	R4	7.7	25.7	42.8	23.7
	R5	9.6	26.3	40.9	23.2
	R6	6.6	18.4	40.1	34.9
	R7	6.4	18.6	39.5	35.6

※ I (25) は昨年度から設問内容を一部変更している。

(5 年間の推移について)

令和 6 年度に 3 時間以上の生徒が急増しているが、令和 7 年度も同水準となっている。

- ・ I (26) 「平日（月曜日～金曜日）、1日当たりどのくらいの時間、携帯電話等を用いてメールやSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）等を利用しますか。」に対する生徒の回答の割合の推移

学年	年度	しない	1時間未満	1時間以上3時間未満	3時間以上
1	R3	2.5	23.6	46.4	27.5
	R4	2.1	22.0	46.5	29.3
	R5	2.3	20.8	45.8	31.0
	R6	2.2	21.7	43.6	32.4
	R7	1.8	18.2	45.4	34.6

学年	年度	しない	1時間未満	1時間以上3時間未満	3時間以上
2	R3	2.5	25.0	45.7	26.8
	R4	2.1	21.7	47.0	29.1
	R5	2.0	19.9	46.5	31.6
	R6	2.2	20.4	44.4	33.0
	R7	1.9	16.7	44.3	37.2

(5年間の推移について)

3時間以上の生徒の割合が年々増加傾向にある。

- ・ II (83) 「平日（月曜日～金曜日）、家庭では、1日当たりどのくらいの時間、勉強しますか。（学習塾や家庭教師との学習は除く。）」に対する生徒の回答の割合の推移

学年	年度	していない	1時間未満	1時間以上3時間未満	3時間以上
1	R3	15.6	37.9	42.9	3.7
	R4	17.3	37.7	41.4	3.7
	R5	20.6	38.0	38.8	2.6
	R6	21.0	38.6	37.9	2.5
	R7	23.0	39.2	35.5	2.2

学年	年度	していない	1時間未満	1時間以上3時間未満	3時間以上
2	R3	21.5	32.0	41.1	5.3
	R4	20.0	33.9	41.3	4.7
	R5	23.5	33.7	38.4	4.4
	R6	24.7	33.8	37.4	4.2
	R7	25.6	34.0	37.0	3.4

(5年間の推移について)

していない生徒の割合が増加傾向にある。また、勉強している生徒の中でも1時間以上3時間未満及び3時間以上の生徒の割合が減少傾向にある。

③読書について

- ・ I (24) 「1か月に何冊くらい本を読みますか。」に対して、「読まない」と回答した生徒の割合の推移

	中学校2学年の時	高等学校1学年の時	高等学校2学年の時
令和7年度高等学校1学年	17.5 *	48.4	
令和7年度高等学校2学年	14.4 **	46.5	55.2

(注) * : 集計対象者数は 19,649 名 (令和5年度広島県学力調査報告書より)

** : 集計対象者数は 19,972 名 (令和4年度広島県学力調査報告書より)

※ 本: 電子書籍、バリアフリー図書(点字図書、拡大図書、LLブック、外国語の図書等)を含む、図書や書物。教科書や問題集、漫画を除く。

(中学校2学年から高等学校2学年までの推移について)

読書をしない生徒の割合は、中学校から高等学校に向けて急激に増加傾向にある。

(2) 学習に関する調査について

①授業形態について

- ・ 授業形態及び学習方法に関する次の質問項目に対して、肯定的回答(「よく当てはまる」又は「やや当てはまる」)をした生徒の割合の推移

番号	授業形態及び学習方法に関する質問項目	学年	R3	R4	R5	R6	R7
II (42)	「授業では、少人数で学習した方がよく分かります。」	1	66.3	67.9	68.1	68.8	69.4
		2	69.3	74.1	73.4	73.5	74.1
II (43)	「授業では、自分の学習進度に合わせて教えてもらった方がよく分かります。」	1	87.5	89.2	89.4	90.5	90.6
		2	88.0	90.3	90.6	90.6	91.1
II (44)	「授業では、ペア・グループ等で互いに考えを伝え合いながら学習する方がよく分かります。」	1	77.5	80.1	79.3	78.9	78.7
		2	71.3	75.4	75.1	75.0	74.4
II (45)	「授業では、作業や体験を通して学習した方がよく分かります。」	1	87.8	90.2	90.2	90.3	90.0
		2	87.0	88.9	89.3	89.3	89.2
II (46)	「授業では、講義よりも自分で課題を解決していく学習の方がよく分かります。」	1	62.0	66.3	65.6	66.7	66.9
		2	62.3	66.0	66.4	67.0	68.4

(5年間の推移について)

II (42) 「授業では、少人数で学習した方がよく分かります」において肯定的回答をした生徒の割合が増加傾向にある。

②デジタル機器を活用した学習について

- ・デジタル機器を活用した学習に関する次の質問項目に対して、肯定的回答（「よく当てはまる」又は「やや当てはまる」）をした生徒の割合の推移

番号	デジタル機器の活用学習に関する質問項目	学年	R3	R4	R5	R6	R7
Ⅱ (73)	「分からないことや必要な情報をすぐに知りたいときは、インターネットを活用して調べます。」	1	94.7	95.2	95.2	94.0	94.5
		2	93.4	95.8	95.9	94.1	94.6
Ⅱ (74)	「プリントだけを用いた学習よりも、コンピュータなどのデジタル機器も活用した学習の方が、やる気が高まります。」	1	67.5	67.7	67.4	72.6	70.8
		2	67.3	68.9	67.6	72.2	73.4
Ⅱ (75)	「プリントだけを用いた学習よりも、コンピュータなどのデジタル機器も活用した学習の方が、よく分かります。」	1	70.5	74.5	74.2	75.6	74.6
		2	69.5	75.0	75.9	75.6	77.2
Ⅱ (76)	「レポートやプレゼンテーションの資料を作成したり、修正したりする際には、コンピュータなどのデジタル機器を活用します。」	1	79.1	84.4	86.0	86.3	86.3
		2	72.2	86.6	88.9	88.2	89.4
Ⅱ (77)	「グループ学習などで、自分の意見や考えを伝えやすくするために、コンピュータなどのデジタル機器を活用します。」	1	65.3	66.6	70.4	73.8	76.2
		2	54.7	71.8	73.5	76.4	78.5

(5年間の推移について)

Ⅱ(77)「グループ学習などで、自分の意見や考えを伝えやすくするために、コンピュータなどのデジタル機器を活用します。」という生徒の割合が増加傾向にある。

③「主体的な学び」について

- ・「主体的な学び」に関する質問項目に対して、肯定的回答（「よく当てはまる」又は「やや当てはまる」）をした生徒の割合の推移

分類	番号	「主体的な学び」に関する質問項目	学年	R3	R4	R5	R6	R7
学習習慣	Ⅱ (33)	「勉強は、自分のふだんの生活や社会生活の中で役立つと思います。」	1	81.4	83.4	81.4	83.9	83.5
			2	80.6	82.4	81.1	83.3	83.5
	Ⅱ (34)	「これまで学習したことの中で、もっと学びたいことがあります。」	1	64.8	67.8	65.7	66.2	65.4
			2	65.6	68.3	66.7	67.3	68.0
	Ⅱ (35)	「自分から進んで勉強します。」	1	47.1	47.1	44.3	44.6	43.4
			2	47.9	48.1	45.6	45.3	45.3
学習行動	Ⅱ (53)	「物事を筋道立てて考えようとしています。」	1	69.8	74.2	71.5	71.2	72.0
			2	71.9	75.6	74.5	73.7	74.4
	Ⅱ (56)	「複数の情報から必要な情報を選んで使おうとします。」	1	88.5	87.1	86.8	86.8	86.3
			2	88.4	87.1	87.6	87.5	86.9
	Ⅱ (58)	「社会や自然などの事象間の関係を考えようとしています。」	1	57.1	62.5	60.1	63.6	64.7
			2	56.5	61.6	62.0	63.7	66.6
	Ⅱ (60)	「議論や証明の仕組みを考えて、その良し悪しを判断しようとしています。」	1	55.5	57.3	57.0	59.3	60.8
			2	53.9	58.3	57.7	60.0	62.3

(5年間の推移について)

学習習慣については、1学年において全ての項目で減少傾向にある

学習行動については、Ⅱ (58)「社会や自然などの事象間の関係を考えようとしています。」、Ⅱ (60)「議論や証明の仕組みを考えて、その良し悪しを判断しようとしています。」という生徒の割合が増加傾向にある。

④学習意欲と授業に対しての考え方の関係について

- ・Ⅱ(52)「授業を通してもっと深く学びたいと思うことがあります。」に対して、否定的回答(「あまり当てはまらない」又は「全く当てはまらない」)をした生徒と、Ⅱ(47)～Ⅱ(51)それぞれに対して、肯定的回答(「よく当てはまる」又は「やや当てはまる」)・否定的回答(「あまり当てはまらない」又は「全く当てはまらない」)をした生徒の割合をまとめた。

番号	学習意欲に関する質問項目	回答		Ⅱ(52)
				否定
Ⅱ(47)	「授業では、単元(授業)目標を理解して学習しています。」	肯定	よく	7.0
			やや	42.3
		否定	あまり	40.6
			全く	10.1
Ⅱ(48)	「授業を通して「各教科ならではの物事を捉える視点や考え方」が身に付いていると感じます。」	肯定	よく	5.3
			やや	41.6
		否定	あまり	43.5
			全く	9.7
Ⅱ(49)	「授業では、これまでに学んだことと新たに学ぶ内容とを関連付けて考えています。」	肯定	よく	6.2
			やや	42.1
		否定	あまり	41.3
			全く	10.4
Ⅱ(50)	「授業では、自分とは異なる考え方を知ること、考えが深まります。」	肯定	よく	14.2
			やや	51.1
		否定	あまり	27.2
			全く	7.5
Ⅱ(51)	「授業を通して理解できるようになった点や改善点を自覚しています。」	肯定	よく	10.6
			やや	52.0
		否定	あまり	30.1
			全く	7.4

※網掛け部分はⅡ(47)～Ⅱ(51)の否定的回答の割合が高いもの上位3つを示している。

(学習意欲と授業に対しての考え方の関係について)

Ⅱ(47)「授業では、単元(授業)目標を理解して学習しています。」、Ⅱ(48)「授業を通して「各教科ならではの物事を捉える視点や考え方」が身に付いていると感じます。」、Ⅱ(49)「授業では、これまでに学んだことと新たに学ぶ内容とを関連付けて考えています。」において、否定的回答の割合が高くなっている。

⑤学校で育成を目指す資質・能力と学校の教育活動、生徒の生活行動、学習行動との関係について
 ・Ⅱ(78)「自分たちの学校がどんな資質・能力を生徒に育成しようとしているかを知っています。」
 及びⅡ(79)「自分は学校が育成を目指す資質・能力を身に付けていると思います。」と、生徒質問紙における全ての項目との相関を調べた。生徒質問紙において相関係数を算出した結果、上位5項目をまとめた。

順位	Ⅱ(78)	Ⅱ(79)
1	Ⅱ(79)「自分は学校が育成を目指す資質・能力を身に付けていると思います。」 [0.58]	Ⅱ(78)「自分たちの学校がどんな資質・能力を生徒に育成しようとしているかを知っています。」[0.58]
2	Ⅱ(48)「授業を通して「各教科ならではの物事を捉える視点や考え方」が身に付いていると感じます。」[0.39]	Ⅱ(48)「授業を通して「各教科ならではの物事を捉える視点や考え方」が身に付いていると感じます。」[0.43]
3	Ⅱ(47)「授業では、単元(授業)目標を理解して学習しています。」[0.37]	Ⅱ(47)「授業では、単元(授業)目標を理解して学習しています。」[0.39]
4	Ⅱ(49)「授業では、これまでに学んだことと新たに学ぶ内容とを関連付けて考えています。」[0.36]	Ⅱ(64)「学んだことを日常生活にどう活用できるかを考えます。」[0.38]
5	Ⅱ(51)「授業を通して理解できるようになった点や改善点を自覚しています。」 [0.36]	Ⅱ(49)「授業では、これまでに学んだことと新たに学ぶ内容とを関連付けて考えています。」[0.37]

※ [] 内は相関係数

(学校で育成を目指す資質・能力と学校の教育活動、生徒の生活行動、学習行動との関係について)
 Ⅱ(78)「自分たちの学校がどんな資質・能力を生徒に育成しようとしているかを知っています。」とⅡ(79)「自分は学校が育成を目指す資質・能力を身に付けていると思います。」は、かなり相関がある。
 また、Ⅱ(78)及びⅡ(79)いずれにもやや相関がある質問項目は、Ⅱ(48)「授業を通して「各教科ならではの物事を捉える視点や考え方」が身に付いていると感じます。」、Ⅱ(47)「授業では、単元(授業)目標を理解して学習しています。」であった。

(3) 主体的な学びと生活等及び学習行動との関係について

①生活等に関する質問項目と、学習に関する質問項目（主体的な学び）の回答との相関

(生活等に関する質問項目と学習に関する質問項目（主体的な学び）)

分類	番号	質問項目
生活等に関する質問項目	I (6)	「自分のよさは、周りの人から認められていると思います。」
	I (9)	「努力すれば、将来の夢や目標はかなうと思います。」
	I (11)	「高等学校在学中又は高等学校卒業後に、海外留学してみたいと思います。」
	I (12)	「将来の夢や目標をもっています。」
	I (16)	「将来、身近な地域に貢献したいと思います。」
	I (17)	「広島県（自分が住んでいる地域）が好きです。」
	I (19)	「授業や学校以外の場において、外国人と積極的にコミュニケーションを図ってみたいと思います。」
	I (21)	「本を読んで、自分の生き方や社会との関わり方について考えることがあります。」
学習に関する質問項目（主体的な学び）	II (33)	「勉強は、自分のふだんの生活や社会生活の中で役立つと思います。」
	II (34)	「これまで学習したことの中で、もっと学びたいことがあります。」
	II (35)	「自分から進んで勉強します。」
	II (53)	「物事を筋道立てて考えようとしています。」
	II (56)	「複数の情報から必要な情報を選んで使おうとしています。」
	II (58)	「社会や自然などの事象間の関係を考えようとしています。」
	II (60)	「議論や証明の仕組みを考えて、その良し悪しを判断しようとしています。」

※ I (11)、I (19)は今年度から設問表現を一部変更

(相関の目安)

相関係数	意味
0.8～1.0	強い相関がある
0.5～0.8	かなり相関がある
0.2～0.5	やや相関がある
0.0～0.2	ほとんど相関がない

(生活等に関する質問項目の回答と、学習に関する質問項目（主体的な学び）の回答との相関)

番号		生活等に関する質問項目							
		I (6)	I (9)	I (11)	I (12)	I (16)	I (17)	I (19)	I (21)
学習に関する質問項目 (主体的な学び)	II (33)	0.22	0.28	0.12	0.20	0.26	0.25	0.21	0.21
	II (34)	0.20	0.21	0.22	0.27	0.24	0.18	0.32	0.33
	II (35)	0.21	0.21	0.19	0.23	0.23	0.14	0.27	0.27
	II (53)	0.23	0.20	0.14	0.19	0.21	0.17	0.24	0.28
	II (56)	0.24	0.21	0.13	0.19	0.19	0.19	0.21	0.23
	II (58)	0.20	0.17	0.17	0.18	0.26	0.17	0.29	0.33
	II (60)	0.20	0.17	0.14	0.17	0.23	0.15	0.24	0.30

※ 小数第3位を四捨五入して示しているため、相関係数と網掛けが一致しない場合がある。

(相関について)

学習に関する質問項目（主体的な学び）の回答とやや相関があると考えられる生活等に関する質問項目（相関係数が0.2以上の項目が5つ以上の質問項目）は、I (6)「自分のよさは、周りの人から認められていると思います。」、I (9)「努力すれば、将来の夢や目標はかなうと思います。」、I (16)「将来、身近な地域に貢献したいと思います。」、I (19)「授業や学校以外の場において、外国人と積極的にコミュニケーションを図ってみたいと思います。」、I (21)「本を読んで、自分の生き方や社会との関わり方について考えることがあります。」である。

② I (12) 「将来の夢や目標をもっています。」の回答と、学習に関する質問項目（主体的な学び）の相関

番号		学習に関する質問項目	相関係数
学習に関する質問項目 (主体的な学び)	II (33)	「勉強は、自分のふだんの生活や社会生活の中で役立つと思います。」	0.20
	II (34)	「これまで学習したことの中で、もっと学びたいことがあります。」	0.27
	II (35)	「自分から進んで勉強します。」	0.23
	II (47)	「授業では、単元（授業）目標を理解して学習しています。」	0.18
	II (48)	「授業を通して「各教科ならではの物事を捉える視点や考え方」が身に付いていると感じます。」	0.20
	II (49)	「授業では、これまでに学んだことと新たに学ぶ内容とを関連付けて考えています。」	0.19
	II (50)	「授業では、自分とは異なる考え方を知ることで、考えが深まります。」	0.19
	II (51)	「授業を通して理解できるようになった点や改善点を自覚しています。」	0.21
	II (52)	「授業を通してもっと深く学びたいと思うことがあります。」	0.24
	II (53)	「物事を筋道立てて考えようとしています。」	0.19
	II (56)	「複数の情報から必要な情報を選んで使おうとします。」	0.19
	II (58)	「社会や自然などの事象間の関係を考えようとしています。」	0.18
	II (60)	「議論や証明の仕組みを考えて、その良し悪しを判断しようとしています。」	0.17
	II (68)	「総合的な探究の時間の学習を通して、将来の夢や目標が明確になってきたと思います。」	0.28
	II (69)	「総合的な探究の時間の学習を通して、もっと深く学びたいという意欲の高まりを感じています。」	0.20
II (70)	「総合的な探究の時間の学習が、各教科での学びに役立っています。」	0.15	

※ 小数第3位を四捨五入して示しているため、相関係数と網掛けが一致しない場合がある。

(相関について)

I (12) 「将来の夢や目標をもっています。」の回答と、特に相関があると考えられるのは、II (34) 「これまで学習したことの中で、もっと学びたいことがあります。」、II (68) 「総合的な探究の時間の学習を通して、将来の夢や目標が明確になってきたと思います。」である。

③Ⅱ(35)「自分から進んで勉強します。」の回答と、学習に関する質問項目の回答との相関

(Ⅱ(35)「自分から進んで勉強します。」の回答と学習に関する質問項目の回答との相関係数が0.40以上の質問項目)

番号	学習に関する質問項目	相関係数
Ⅱ(31)	「何のために勉強するか、言うことができます。」	0.40
Ⅱ(34)	「これまで学習したことの中で、もっと学びたいことがあります。」	0.44
Ⅱ(36)	「ふだんから計画を立てて勉強に取り組みます。」	0.67
Ⅱ(37)	「分からない問題でも、あきらめないでやってみます。」	0.49
Ⅱ(38)	「答えが間違っていたとき、その理由を確かめます。」	0.42
Ⅱ(39)	「予習や復習(宿題を含む。)をします。」	0.48
Ⅱ(40)	「授業で習ったことをできるだけ暗記しようとします。」	0.42
Ⅱ(41)	「問題集などを使って、できるだけ多くの問題を解くようにします。」	0.56
Ⅱ(49)	「授業では、これまでに学んだことと新たに学ぶ内容とを関連付けて考えています。」	0.41
Ⅱ(51)	「授業を通して理解できるようになった点や改善点を自覚しています。」	0.40
Ⅱ(52)	「授業を通してもっと深く学びたいと思うことがあります。」	0.45
Ⅱ(53)	「物事を筋道立てて考えようとします。」	0.40
Ⅱ(63)	「勉強するときは、今まで習ったことと関連付けて理解しようとします。」	0.40

(相関について)

Ⅱ(29)「自分から進んで勉強します。」の回答と、特に相関があると考えられるのは、Ⅱ(36)「ふだんから計画を立てて勉強に取り組みます。」、Ⅱ(41)「問題集などを使って、できるだけ多くの問題を解くようにします。」である。

(4) キャリア教育に関する調査について

①基礎的・汎用的能力について

・キャリア教育の基礎的・汎用的能力（「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」）に関する質問項目に対して、肯定的回答（「よく当てはまる」又は「やや当てはまる」）をした生徒の学年毎の割合

番号	番号	質問項目	学年	肯定	R7
人間関係形成・ 社会形成能力	I (7)	「学校でみんなと一緒に活動するのが楽しいと感じています。」	1	よく	64.3
			1	やや・よく	93.7
			2	よく	60.9
			2	やや・よく	93.2
	II (50)	「授業では、自分とは異なる考え方を 知ること、考えが深まります。」	1	よく	33.2
			1	やや・よく	83.6
			2	よく	32.8
			2	やや・よく	84.3
自己理解・ 自己管理能力	I (6)	「自分のよさは、周りの人から認め られていると思います。」	1	よく	38.3
			1	やや・よく	87.2
			2	よく	37.4
			2	やや・よく	87.5
	II (37)	「分からない問題でも、あきらめな いでやってみます。」	1	よく	21.7
			1	やや・よく	70.8
			2	よく	19.3
			2	やや・よく	67.6
課題対応能力	I (8)	「何かに取り組むときには、進め方 や考え方が間違っていないか、振り 返って考えるようにしています。」	1	よく	35.8
			1	やや・よく	85.8
			2	よく	37.0
			2	やや・よく	87.5
	II (38)	「答えが間違っていたとき、その理 由を確かめます。」	1	よく	37.7
			1	やや・よく	83.5
			2	よく	36.4
			2	やや・よく	82.4
キャリアプラン ニング能力	I (15)	「働くことの意味について、自分な りの考えをもっています。」	1	よく	40.4
			1	やや・よく	88.0
			2	よく	40.1
			2	やや・よく	88.1
	II (32)	「勉強は、入学試験や就職試験に関 係なくても大切だと思います。」	1	よく	38.8
			1	やや・よく	82.2
			2	よく	38.0
			2	やや・よく	82.6

(基礎的・汎用的能力について)

I (7)「学校でみんなと一緒に活動するのが楽しいと感じています。」以外の7つの質問項目について肯定的回答（「よく当てはまる」と「やや当てはまる」）と強い肯定回答（「よく当てはまる」）との差が4割を超えている。

②キャリア教育の基礎的・汎用的能力に関する質問項目の回答と、学習に関する質問項目（主体的な学び）の回答との相関

（キャリア教育の基礎的・汎用的能力に関する質問項目と学習に関する質問項目（主体的な学び））

分類	番号	質問項目
キャリア教育の基礎的・汎用的能力に関する質問項目	I (7)	「学校でみんなと一緒に活動するのが楽しいと感じています。」
	II (50)	「授業では、自分とは異なる考え方を知ること、考えが深まります。」
	I (6)	「自分のよさは、周りの人から認められていると思います。」
	II (37)	「分からない問題でも、あきらめないでやってみます。」
	I (8)	「何かに取り組むときには、進め方や考え方が間違っていないか、振り返って考えるようにしています。」
	II (38)	「答えが間違っていたとき、その理由を確かめます。」
	I (15)	「働くことの意味について、自分なりの考えをもっています。」
	II (32)	「勉強は、入学試験や就職試験に関係なくても大切だと思います。」
学習に関する質問項目（主体的な学び）	II (33)	「勉強は、自分のふだんの生活や社会生活の中で役立つと思います。」
	II (34)	「これまで学習したことの中で、もっと学びたいことがあります。」
	II (35)	「自分から進んで勉強します。」
	II (53)	「物事を筋道立てて考えようとします。」
	II (56)	「複数の情報から必要な情報を選んで使おうとします。」
	II (58)	「社会や自然などの事象間の関係を考えようとします。」
	II (60)	「議論や証明の仕組みを考えて、その良し悪しを判断しようとしています。」

（相関の目安）

相関係数	意味
0.8～1.0	強い相関がある
0.5～0.8	かなり相関がある
0.2～0.5	やや相関がある
0.0～0.2	ほとんど相関がない

(キャリア教育の基礎的・汎用的能力に関する質問項目の回答と、学習に関する質問項目（主体的な学び）の回答との相関)

番号		学習に関する質問項目（主体的な学び）						
		Ⅱ (33)	Ⅱ (34)	Ⅱ (35)	Ⅱ (53)	Ⅱ (56)	Ⅱ (58)	Ⅱ (60)
キャリア教育の基礎的・汎用的能力に関する質問項目	I (7)	0.20	0.15	0.14	0.17	0.18	0.14	0.13
	Ⅱ (50)	0.39	0.40	0.35	0.45	0.47	0.39	0.39
	I (6)	0.22	0.20	0.21	0.23	0.24	0.20	0.20
	Ⅱ (37)	0.33	0.37	0.49	0.42	0.39	0.31	0.36
	I (8)	0.28	0.29	0.32	0.40	0.36	0.32	0.33
	Ⅱ (38)	0.31	0.35	0.42	0.42	0.42	0.29	0.32
	I (15)	0.28	0.29	0.23	0.30	0.30	0.30	0.27
	Ⅱ (32)	0.63	0.41	0.35	0.29	0.30	0.27	0.26

※ 小数第3位を四捨五入して示しているため、相関係数と網掛けが一致しない場合がある。

(相関について)

キャリア教育の基礎的・汎用的能力に関する質問項目の回答とやや相関があると考えられる学習に関する質問項目（主体的な学び）（相関係数が0.2以上の項目が5つ以上の質問項目）は、Ⅱ(50)「授業では、自分とは異なる考え方を知ること、考えが深まります。」、I(6)「自分のよさは、周りの人から認められていると思います。」、Ⅱ(37)「分からない問題でも、あきらめずやってみます。」、I(8)「何かに取り組むときには、進め方や考え方が間違っていないか、振り返って考えるようにしています。」、Ⅱ(38)「答えが間違っていたとき、その理由を確かめます。」、I(15)「働くことの意味について、自分なりの考えをもっています。」、Ⅱ(32)「勉強は、入学試験や就職試験に関係なくても大切だと思います。」である。

2 学校質問紙調査

(1) 外国語科の指導に関する調査について

①主体的な学びに関する調査について

- ・外国語科において、特に主体的な学びに関連すると考えられる次の質問項目に対して、肯定的回答（「よく当てはまる」又は「やや当てはまる」）をした割合の推移

番号	質問項目	学年	R3	R4	R5	R6	R7
Ⅲ 2(29)	「外国語科では、学習した文法事項や表現を用いて日常生活に関わる内容を理解したり表現したりする活動を取り入れている。」	1	95.8	94.9	98.3	97.4	93.0
		2	95.0	94.8	97.4	96.5	97.4

(5年間の推移について)

外国語科において既習事項を用いて日常生活に関わる内容についての学習活動を取り入れている授業の割合は9割を超えている。

②デジタル機器の活用について

- ・外国語科において、デジタル機器の活用に関する次の質問項目に対して、肯定的回答（「よく当てはまる」又は「やや当てはまる」）をした割合の推移

番号	質問項目	学年	R3	R4	R5	R6	R7
Ⅲ 2(31)	「外国語科では、デジタル機器を活用した授業を行っている。」	1	92.4	94.9	96.6	96.6	99.1
		2	86.6	94.8	94.8	97.4	99.1

(5年間の推移について)

外国語科において、デジタル機器を活用した授業を行っている割合は、9割を超えている。

(2) カリキュラム・マネジメントに関する調査について

・学校質問紙（校長（管理職）回答）のカリキュラム・マネジメントに関連する質問項目に対して、肯定的回答（「当てはまる」）をした割合

番号	カリキュラム・マネジメントに関連する質問項目	R6	R7
Ⅱ (6)	「学校教育目標の設定のプロセス（課題設定など）には、多くの教職員が参画している。」	99.0	98.0
Ⅱ (7)	「学校の実態や課題を、校内会議等において教職員間で共有している。」	100.0	98.0
Ⅱ (8)	「学校の実態や課題に即して具体化された学校教育目標を、校内会議等において教職員間で共有している。」	99.0	98.0
Ⅱ (9)	「重点目標（「学校教育目標から定められた単年度ごとに達成すべき具体的目標」以下同じ。）を、校内会議等において教職員間で共有している。」	100.0	100.0
Ⅱ (10)	「重点目標として設定した理由を、校内会議等において教職員間で共有している。」	100.0	98.0
Ⅱ (11)	「重点目標達成のために策定した計画に基づいた教育活動が実施されている。」	100.0	100.0
Ⅱ (12)	「教育活動の計画の成果を測るための適切な評価指標が設定されている。」	100.0	100.0
Ⅱ (13)	「評価指標に基づいた成果検証を行うために必要なデータが収集されている。」	100.0	100.0
Ⅱ (14)	「収集したデータ等を基に教育活動の成果が検証されている。」	99.0	99.0
Ⅱ (15)	「収集したデータ等を基に「特別活動 全体計画」の検証・改善を行っている。」		89.9
Ⅱ (16)	「収集したデータ等を基に「キャリア教育 全体計画」の検証・改善を行っている。」		90.9
Ⅱ (17)	「成果検証した結果を教職員間で共有している。」	100.0	100.0
Ⅱ (18)	「成果検証の結果が、学校教育目標の見直しに生かされている。」	100.0	98.0
Ⅱ (19)	「成果検証の結果が、評価指標の見直しに生かされている。」	100.0	99.0
Ⅱ (20)	「地域等の外部の資源を含めて、教育活動に必要な人的・物的資源等を活用している。」	99.0	99.0

※Ⅱ (15)～Ⅱ (16)は今年度からの新規項目

※Ⅱ (6)については、「一般の教員も参画している」又は「主任以上が参画している」を回答した割合

※Ⅱ (11)～Ⅱ (14)については、「よく当てはまる」又は「やや当てはまる」を回答した割合

(カリキュラム・マネジメントの実施状況について)

全ての項目において、肯定的回答の割合が100%に近い。

3 学校質問紙調査と生徒質問紙調査

(1) 多様な評価方法を取り入れた評価活動の取組と生徒の学習行動との関係について

①学校質問紙Ⅰ(11)「生徒の資質・能力の育成の状況を見取るために、多様な評価方法を取り入れている。」に対して、「よく当てはまる」又は「やや当てはまる」を回答している学校(学校群Ⅰ)と、それ以外の回答をしている学校(学校群Ⅱ)に分けた。

②各学校群について、生徒質問紙の学習に関する質問項目(主体的な学び)に対して、肯定的回答(「よく当てはまる」又は「やや当てはまる」)をした生徒の割合及びその差をまとめた。

(肯定的回答をしている生徒の割合)

番号	学習に関する質問項目(主体的な学び)	学校群Ⅰ (21,134人)	学校群Ⅱ (871人)	差
Ⅱ(33)	「勉強は、自分のふだんの生活や社会生活の中で役立つと思います。」	83.5	83.5	0.0
Ⅱ(34)	「これまで学習したことの中で、もっと学びたいことがあります。」	66.6	67.5	0.9
Ⅱ(35)	「自分から進んで勉強します。」	44.5	41.2	3.3
Ⅱ(53)	「物事を筋道立てて考えようとします。」	86.7	84.7	2.0
Ⅱ(56)	「複数の情報から必要な情報を選んで使おうとします。」	65.6	64.8	0.8
Ⅱ(58)	「社会や自然などの事象間の関係を考えようとします。」	61.6	60.0	1.6
Ⅱ(60)	「議論や証明の仕組みを考えて、その良し悪しを判断しようとします。」	83.5	83.5	0.0

※網掛け部分は学校群Ⅰと学校群Ⅱの差が大きいもの上位3つを示している。

※学校群Ⅰ、学校群Ⅱの割合の差について、小数第2位を四捨五入している。

(多様な評価方法を取り入れた評価活動の取組と生徒の学習行動との関係について)

学校群Ⅰは、生徒質問紙Ⅱ(35)「自分から進んで勉強します。」について、学校群Ⅱよりも肯定的回答をしている生徒の割合が高い。

(2) 授業におけるデジタル機器の活用と生徒の学習行動との関係について

- ①学校質問紙Ⅱ(18)～Ⅱ(20)の授業におけるデジタル機器の活用に関する質問項目に対して、「ほとんどの教職員が当てはまる」又は「多くの教職員が当てはまる」を回答している割合の高い学校(学校群Ⅰ)とそれ以外の学校(学校群Ⅱ)に分けた。
- ②各学校群について、生徒質問紙の学習に関する質問項目(主体的な学び)に対して、肯定的回答(「よく当てはまる」又は「やや当てはまる」)をした生徒の割合及びその差をまとめた。

(肯定的回答をしている生徒の割合)

番号	学習に関する質問項目(主体的な学び)	学校群Ⅰ (20,564人)	学校群Ⅱ (1,441人)	差
Ⅱ(33)	「勉強は、自分のふだんの生活や社会生活の中で役立つと思います。」	83.7	80.5	3.2
Ⅱ(34)	「これまで学習したことの中で、もっと学びたいことがあります。」	67.2	59.0	8.2
Ⅱ(35)	「自分から進んで勉強します。」	45.0	35.7	9.3
Ⅱ(53)	「物事を筋道立てて考えようとします。」	73.6	66.6	7.0
Ⅱ(56)	「複数の情報から必要な情報を選んで使おうとします。」	86.9	82.7	4.2
Ⅱ(58)	「社会や自然などの事象間の関係を考えようとします。」	65.9	61.1	4.8
Ⅱ(60)	「議論や証明の仕組みを考えて、その良し悪しを判断しようとうとします。」	61.7	58.7	3.0

※網掛け部分は学校群Ⅰと学校群Ⅱの差が大きいもの上位3つを示している。

※学校群Ⅰ、学校群Ⅱの割合の差について、小数第2位を四捨五入している。

(授業におけるデジタル機器の活用と生徒の学習行動との関係について)

学校群Ⅰは、生徒質問紙Ⅱ(35)「自分から進んで勉強します。」について、学校群Ⅱよりも肯定的回答をしている生徒の割合が高く、その差が大きい。

(3) 主体的な学びの実践と生徒の学習行動との関係について

①学校質問紙Ⅰ(7)、Ⅰ(8)の主体的な学びの実践に関連する質問項目に対して、「ほとんどの教員が当てはまる」又は「多くの教員が当てはまる」を回答している割合の高い学校(学校群Ⅰ)とそれ以外の学校(学校群Ⅱ)に分けた。

②各学校群について、生徒質問紙の学習に関する質問項目(主体的な学び)に対して、肯定的回答(「よく当てはまる」又は「やや当てはまる」)をした生徒の割合及びその差をまとめた。

(肯定的回答をしている生徒の割合)

番号	学習に関する質問項目(主体的な学び)	学校群Ⅰ (19,104人)	学校群Ⅱ (2,901人)	差
Ⅱ(33)	「勉強は、自分のふだんの生活や社会生活の中で役立つと思います。」	83.4	84.4	1.0
Ⅱ(34)	「これまで学習したことの中で、もっと学びたいことがあります。」	66.9	65.2	1.7
Ⅱ(35)	「自分から進んで勉強します。」	44.9	40.7	4.2
Ⅱ(53)	「物事を筋道立てて考えようとします。」	73.3	72.4	0.9
Ⅱ(56)	「複数の情報から必要な情報を選んで使おうとします。」	86.9	84.5	2.4
Ⅱ(58)	「社会や自然などの事象間の関係を考えようとします。」	65.8	64.6	1.2
Ⅱ(60)	「議論や証明の仕組みを考えて、その良し悪しを判断しようとうとします。」	61.3	62.6	1.3

※網掛け部分は学校群Ⅰと学校群Ⅱの差が大きいもの上位3つを示している。

※学校群Ⅰ、学校群Ⅱの割合の差について、小数第2位を四捨五入している。

(主体的な学びの実践と生徒の学習行動との関係について)

学校群Ⅰは、特に生徒質問紙Ⅱ(35)「自分から進んで勉強します。」について、学校群Ⅱよりも肯定的回答をしている生徒の割合が高い。

(4) 読書活動の促進に関する取組と生徒の学習行動との関係について

- ①学校質問紙Ⅰ(14)～Ⅰ(17)の読書活動の促進に関連する質問項目に対して、「よく当てはまる」又は「やや当てはまる」を回答している割合の高い学校(学校群Ⅰ)とそれ以外の学校(学校群Ⅱ)に分けた。
- ②各学校群について、生徒質問紙の学習に関する質問項目(主体的な学び)に対して、肯定的回答(「よく当てはまる」又は「やや当てはまる」)をした生徒の割合及びその差をまとめた。

(肯定的回答をしている生徒の割合)

番号	学習に関する質問項目(主体的な学び)	学校群Ⅰ (15,576人)	学校群Ⅱ (6,429人)	差
Ⅱ(33)	「勉強は、自分のふだんの生活や社会生活の中で役立つと思います。」	83.7	82.9	0.8
Ⅱ(34)	「これまで学習したことの中で、もっと学びたいことがあります。」	67.2	65.4	1.8
Ⅱ(35)	「自分から進んで勉強します。」	44.5	44.0	0.5
Ⅱ(53)	「物事を筋道立てて考えようとします。」	73.7	72.0	1.7
Ⅱ(56)	「複数の情報から必要な情報を選んで使おうとします。」	87.1	85.5	1.6
Ⅱ(58)	「社会や自然などの事象間の関係を考えようとします。」	66.2	64.1	2.1
Ⅱ(60)	「議論や証明の仕組みを考えて、その良し悪しを判断しよう」とします。」	61.4	61.9	0.5

※網掛け部分は学校群Ⅰと学校群Ⅱの差が大きいもの上位3つを示している。

※学校群Ⅰ、学校群Ⅱの割合の差について、小数第2位を四捨五入している。

(読書活動の促進に関する取組と生徒の学習行動との関係について)

学校群Ⅰは、特に生徒質問紙Ⅱ(58)「社会や自然などの事象間の関係を考えようとします。」について、学校群Ⅱよりも肯定的回答をしている生徒の割合が高い。

(5) 学習に関する項目と各教科の指導に関する項目との関係について

・生徒質問紙（Ⅱ(47)～Ⅱ(51)、Ⅱ(65)～Ⅱ(67)、Ⅱ(69)、Ⅱ(70)）と、学校質問紙（(校長（管理職）回答）Ⅰ(1)～Ⅰ(5)、(学年主任回答)Ⅲ1(21)～Ⅲ1(25)）の内容が対応している設問を組み合わせ、肯定的回答（「よく当てはまる」又は「やや当てはまる」）の割合とその差をまとめた。

(肯定的回答をしている生徒及び校長（管理職）の割合)

生徒質問紙	学校質問紙	生徒肯定	学校肯定	差
Ⅱ(47)「授業では、単元（授業）目標を理解して学習しています。」	Ⅰ(1)「単元（授業）目標について、ただ示すだけではなく、生徒が理解できるように働きかけている。」	70.0%	96.0%	26.0%
Ⅱ(48)「授業を通して「各教科ならではの物事を捉える視点や考え方が身に付いていると感じます。」	Ⅰ(2)「問いや教材を工夫し、生徒が「各教科ならではの物事を捉える視点や考え方（各教科における「見方・考え方」）」を働かせて課題解決に向かう学習課題を設定している。」	71.8%	96.0%	24.2%
Ⅱ(49)「授業では、これまでに学んだことと新たに学ぶ内容とを関連付けて考えています。」	Ⅰ(3)「これまでに学んだことと新たに学ぶ内容とについて疑問等を引き出し、パターンやつながりを見いだし、生徒が思考を深めることができるような発問をしている。」	74.0%	91.9%	17.9%
Ⅱ(50)「授業では、自分とは異なる考え方を知ること、考えが深まります。」	Ⅰ(4)「異なる考え方を組み合わせ思考を深める協働的な学習場面を設定している。」	84.0%	85.9%	1.9%
Ⅱ(51)「授業を通して理解できるようになった点や改善点を自覚しています。」	Ⅰ(5)「単元（授業）を通してできるようになった点及び改善点を気付かせるよう働きかけている。」	82.9%	90.9%	8.0%
Ⅱ(65)「総合的な探究の時間では、探究課題をどのように設定していますか。」	Ⅲ1(21)「探究課題については、生徒が実社会や実生活と自己との関わりから設定するように働きかけている。」	67.6%	86.5%	18.9%
Ⅱ(66)「総合的な探究の時間では、資料やデータ等をどのように扱いますか。」	Ⅲ1(22)「探究課題の解決に向けて、複数の資料の収集や、リサーチで得られたデータ等の整理、分析をするように促している。」	75.3%	82.1%	6.8%
Ⅱ(67)「総合的な探究の時間で、参考にしている考え方はどれですか。」	Ⅲ1(23)「生徒が他者の考え方を参考にしながら探究課題の解決に向けて取り組むよう促している。」	70.6%	85.6%	15.0%
Ⅱ(69)「総合的な探究の時間の学習を通して、もっと深く学びたいという意欲の高まりを感じています。」	Ⅲ1(24)「探究の質を高めるために、探究のサイクルを繰り返すことができるような計画を立てている。」	51.5%	79.9%	28.4%
Ⅱ(70)「総合的な探究の時間の学習が、各教科での学びに役立っています。」	Ⅲ1(25)「生徒が「各教科ならではの物事を捉える視点や考え方（各教科における「見方・考え方」）」を組み合わせ働かせ、課題解決に取り組み、その中で得られた学びを教科・科目の学習に生かすことができるように、組織的に計画・実施している。」	42.5%	15.7%	26.8%

※網掛け部分は生徒と学校の差が大きいもの上位3つを示している。

※生徒、学校の割合の差について、小数第2位を四捨五入している。

※生徒質問紙Ⅱ(65)～Ⅱ(67)、学校質問紙(学年主任回答)Ⅲ1(21)～Ⅲ1(25)は複数回答可。

(生徒質問紙と学校質問紙の内容が対応している設問の肯定的な回答の割合とその差について)

生徒質問紙Ⅱ(47)「授業では、単元(授業)目標を理解して学習しています。」と学校質問紙Ⅰ(1)「単元(授業)目標について、ただ示すだけではなく、生徒が理解できるように働きかけている。」、生徒質問紙Ⅱ(69)「総合的な探究の時間の学習を通して、もっと深く学びたいという意欲の高まりを感じています。」と学校質問紙Ⅲ1(24)「探究の質を高めるために、探究のサイクルを繰り返すことができるような計画を立てている。」については、生徒質問紙の質問項目に対する肯定的回答の割合が、対応する学校質問紙の質問項目に対する肯定的回答の割合よりも低く、その差が大きい。

また、生徒質問紙Ⅱ(70)「総合的な探究の時間の学習が、各教科での学びに役立っています。」と学校質問紙Ⅲ1(25)「生徒が「各教科ならではの物事を捉える視点や考え方(各教科における「見方・考え方」)」を組み合わせさせて働かせ、課題解決に取り組み、その中で得られた学びを教科・科目の学習に生かすことができるように、組織的に計画・実施している。」については、生徒質問紙の質問項目に対する肯定的回答の割合が、対応する学校質問紙の質問項目に対する肯定的回答の割合よりも高く、その差が大きい。

(各設問の肯定的回答に含める選択肢)

質問紙	番号	肯定的回答に含める選択肢
生徒質問紙	II (47)～II (51) II (69)、II (70)	1 よく当てはまる 2 やや当てはまる
	II (65)	1 現実社会や日常生活との関わりから自ら探究課題を設定しています。 2 自己の在り方生き方との関わりから自ら探究課題を設定しています。 3 自己の興味・関心から自ら探究課題を設定しています。 4 地域や学校の特色に応じて自ら探究課題を設定しています。 5 現実社会や日常生活との関わりから先生が設定したテーマを基に、自ら探究課題を設定しています。 6 自己の在り方生き方との関わりから先生が設定したテーマを基に、自ら探究課題を設定しています。 ※よく当てはまる：1、2、5、6のいずれかを含む。 やや当てはまる：3、4の2つのみ。 又は、3、4のいずれかのみ。
	II (66)	1 複数の資料やデータ等を収集しています。 2 収集した資料やデータ等を整理・取捨選択しています。 3 整理した資料やデータ等を分析・考察しています。 ※よく当てはまる：1、2、3の3つ全て。 やや当てはまる：1から3のうち、1つ又は2つ。
	II (67)	1 他の生徒や教員の考え方を参考にしています。 2 自身の着眼点とは異なる着眼点を参考にしています。 3 学校外の人の考え方を参考にしています。 ※肯定：1から3のうち、いずれか1つ以上。 (「よく」と「やや」の区別なし)
(管理職) (校長) 学校質問紙	I (1)～I (5)	1 よく当てはまる 2 やや当てはまる
(学年主任) 学校質問紙	III 1 (21)	1 生徒が実社会や実生活との関わりから探究課題を設定するように働きかけている。 2 生徒が自己の在り方生き方との関わりから探究課題を設定するように働きかけている。 3 生徒が自己の興味・関心から探究課題を設定するように働きかけている。 4 生徒が地域や学校の特色に応じて探究課題を設定するように働きかけている。 5 教員が実社会や実生活との関わりからテーマを設定し、生徒が探究課題を設定している。 6 教員が生徒にとっての自己の在り方生き方との関わりからテーマを設定し、生徒が探究課題を設定している。 ※よく当てはまる：1、2、5、6のいずれかを含む。 やや当てはまる：3、4の2つのみ。 又は、3、4のいずれかのみ。
	III 1 (22)	1 生徒が資料やデータ等を収集する場面を設定している。 2 収集した資料やデータ等を整理・取捨選択するための視点を提示・助言している。 3 整理した資料やデータ等を分析・考察するための視点を提示・助言している。 ※よく当てはまる：1、2、3の3つ全て。 やや当てはまる：1から3のうち、1つ又は2つ。

	Ⅲ 1 (23)	<p>1 他の生徒や教員の考え方を参考にするよう助言している。</p> <p>2 生徒自身の着眼点とは異なる着眼点を提示・助言している。</p> <p>3 学校外の人材の考え方を参考にするよう助言している。</p> <p>※肯定：1から3のうち、いずれか1つ以上。 (「よく」と「やや」の区別なし)</p>
	Ⅲ 1 (24)	<p>1 生徒自身がまとめた解決策等から更なる課題を見いだす等、探究のサイクルを繰り返すことができるような指導計画を立てている。</p> <p>2 予想通りの結果が得られないときは、課題の設定等の各過程に立ち戻って、探究のサイクルを繰り返すことができるような指導計画を立てている。</p> <p>3 探究の各過程において、指導計画通り学習活動ができているかを確認するような評価計画を立てている。</p> <p>※よく当てはまる：1、2、3の3つ全て。 又は、1、2の2つ。 若しくは、1、3の2つ。 やや当てはまる：1から3のうち、いずれか1つ。 又は、2、3の2つ。</p>
	Ⅲ 1 (25)	<p>1 学年会議や総合的な探究の時間の担当者会議等で、生徒が複数の教科の「見方・考え方」を組み合わせさせて働かせることができるように、学習内容を計画し、実施している。</p> <p>2 学年会議や総合的な探究の時間の担当者会議等で、総合的な探究の時間の学びを各教科・科目の学習に生かすことができるように、意見交換・情報共有等を行っている。</p> <p>3 学年会議や総合的な探究の時間の担当者会議等で、生徒が複数の教科で学習した「知識や内容」を活用できるように、各教科の学習内容を共有している。</p> <p>※肯定：1、2、3の3つ全て。 又は、1、2の2つ。 (「よく」と「やや」の区別なし)</p>